※平成31年以降の表記は、新元号に読み替えることとする。

事業番号 新31 － 0001

平成３１年度行政事業レビューシート（　　宮内庁　　）

事業名	三の丸尚蔵館尚蔵館施設保存公開拡充事業（案）			担当部局庁	宮内庁	作成責任者
事業開始年度	平成３１年度	事業終了（予定）年度	終了予定なし	担当課室	長官官房用度課	課長　鴨澤　豊
会計区分	一般会計					
根拠法令（具体的な条項も記載）	外国人観光旅客の来訪の促進等による国際観光の振興に関する法律第12条第１項			関係する計画、通知等	明日の日本を支える観光ビジョン 国際観光旅客税の使途に関する基本方針等について 観光ビジョン実現プログラム 宮内庁三の丸尚蔵館の今後の保存・公開の在り方に関する提言	
主要政策・施策	観光立国			主要経費	その他の事項経費	
事業の目的（目指す姿を簡潔に。3行程度以内）	皇室に伝えられてきた貴重な品々を，国民の財産として，将来に向けて長く良好な環境で保護しつつ，皇室を中心とする文化を紹介する拠点として，観光立国に資するべく，国内外の多くの人々に快適な環境で公開を実施していく。 また，開館以来の20年以上に及ぶ実績を踏まえて、調査研究と保存管理のより一層の充実を図る。					
事業概要（5行程度以内。別添可）	三の丸尚蔵館の収蔵品は，時代や地域的に極めて多岐にわたる絵画，彫刻，工芸等の様々な分野の貴重な作品があり，その調査研究や魅力発信が求められている。 また，その立地は，皇居という国内外から多くの人々が集まり，皇室を中心とする文化に関する情報を発信する拠点にふさわしい場所にあることから，より積極的に展示・公開していくことが求められている。 こうした諸課題に対応すべく，新施設建設による環境整備を行い，公開を実施する。					
実施方法	直接実施、委託・請負					

予算額・執行額（単位：百万円）

		28年度	29年度	30年度	31年度	32年度要求
予算の状況	当初予算	－	－	－	1,500	－
	補正予算	－	－	－	－	
	前年度から繰越し	－	－	－	－	－
	翌年度へ繰越し	－	－	－	－	
	予備費等	－	－	－	－	
	計	0	0	0	1,500	0
執行額		－	－	－		
執行率（%）		－	－	－		
当初予算＋補正予算に対する執行額の割合（%）		#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!		

平成31・32年度予算内訳（単位：百万円）

歳出予算目	31年度当初予算	32年度要求	主な増減理由
施設整備費	1,473.7	－	令和2年度要求に当たっては，予算編成過程において検討することとされているため，概算要求の段階では（項）宮廷費に計上していない。（令和元年度予算額1,500百万円：観光財源を充当。「国際観光旅客税の使途に関する基本方針等について」（平成30年12月21日観光立国推進閣僚会議決定））
庁費	26.3	－	
－	－	－	
－	－	－	
－	－	－	
その他	0	#VALUE!	
計	1,500	－	

成果目標及び成果実績（アウトカム）

定量的な成果目標	成果指標		単位	28年度	29年度	30年度	中間目標 － 年度	目標最終年度 － 年度
満足度について（案） 入館者の満足の割合90%以上（案）	入館者への満足度調査における満足度の割合（案）	成果実績	%	－	－	－	－	－
		目標値	%	－	－	－	－	－
		達成度	%	－	－	－	－	－

成果目標及び成果実績（アウトカム）

定量的な成果目標	成果指標		単位	28年度	29年度	30年度	中間目標 － 年度	目標最終年度 － 年度
理解度について（案） 入館者の解説文等における理解度の割合90%以上（案）	入館者への理解度調査における理解度の割合（案）	成果実績	%	－	－	－	－	－
		目標値	%	－	－	－	－	－
		達成度	%	－	－	－	－	－

活動指標及び活動実績（アウトプット）

活動指標		単位	28年度	29年度	30年度	31年度活動見込	32年度活動見込
入館者数（案） ※暦年	活動実績	人	405,965	385,854	437,040	－	－
	当初見込み	人	－	－	－	－	－

活動指標及び

活動指標	単位	28年度	29年度	30年度	31年度活動見込	32年度活動見込

活動実績（アウトプット）	展覧会開催日数（案）※暦年	活動実績	日	193	206	212	－	－
		当初見込み	日	－	－	－	－	－
活動指標及び活動実績（アウトプット）	活動指標		単位	28年度	29年度	30年度	31年度活動見込	32年度活動見込
	展示会開催回数（案）	活動実績	回	4	4	4	－	－
		当初見込み	回	－	－	－	－	－
活動指標及び活動実績（アウトプット）	活動指標		単位	28年度	29年度	30年度	31年度活動見込	32年度活動見込
	図録等発行部数（案）	活動実績	部	2,200	2,200	2,500	－	－
		当初見込み	部	－	－	－	－	－
単位当たりコスト	算出根拠		単位	28年度	29年度	30年度	31年度活動見込	
	入館者一人あたりのコスト（案）（公開に関する経費／入館者数）	単位当たりコスト					－	－
		計算式	/				－	－

事業所管部局による点検・改善

	項　目	評　価	評価に関する説明
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	新たな収蔵展示施設での事業は，近年の入館者数が示すとおり，国民のニーズを踏まえたものと評価できる。
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	皇室と国民との交流の一環であり，宮内庁法第一条に基づき，宮内庁において行うことが適当である。
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	皇室に伝わる文化を国民とより良い形で分かち合うという目的に必要かつ適切な事業であり，優先度の高い事業である。
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約（企画競争）による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。		
	競争性のない随意契約となったものはないか。		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。		
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。（理由を右に記載）		
	繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。（理由を右に記載）		
	その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。		
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。		
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。（役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載）		

所管府省名	事業番号	事業名

点検・改善結果	点検結果	―
	改善の方向性	―

外部有識者の所見

点検対象外

行政事業レビュー推進チームの所見	
現状通り	事業の適切な進捗管理，契約における競争性の確保などにより，予算の効率的執行に留意すること。

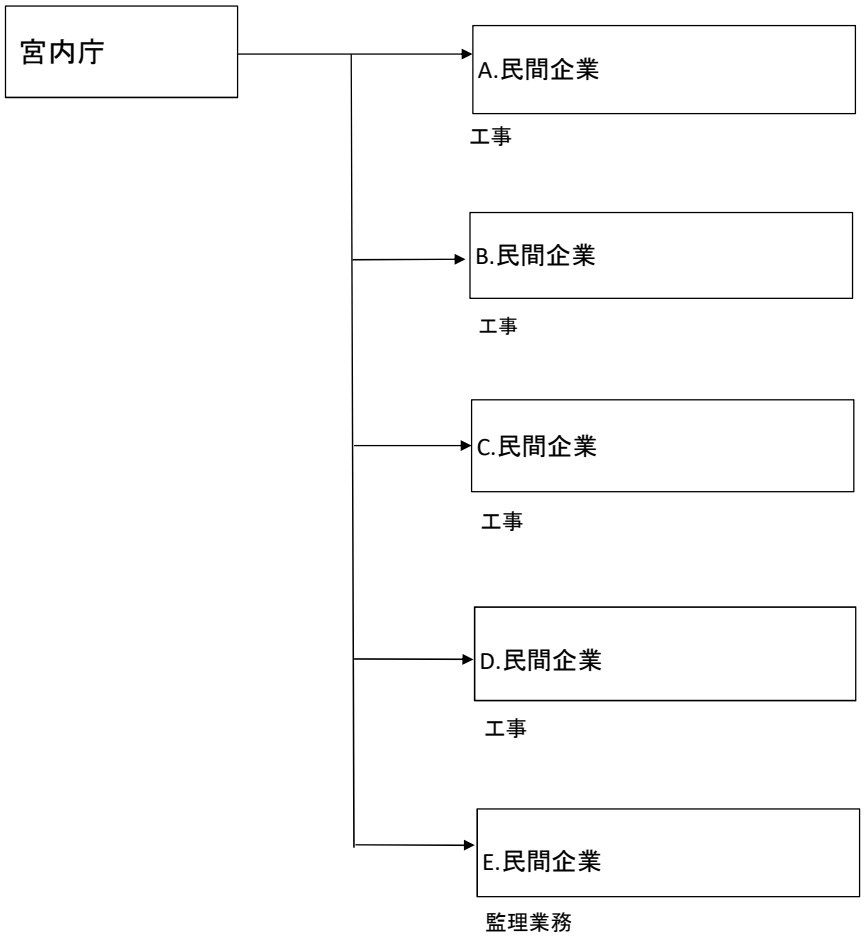
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況	
現状通り	事業実施にあたっては，適切な進捗管理，契約における競争性の確保などにより，予算の効率的執行に努める。

備考

関連する過去のレビューシートの事業番号							
平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度	
平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度	
平成30年度							

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）
（単位：百万円）

※平成30年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



費目・使途
（「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載）

A.			B.		
費 目	使 途	金 額（百万円）	費 目	使 途	金 額（百万円）
計		0	計		0

C.			D.		
費 目	使 途	金 額（百万円）	費 目	使 途	金 額（百万円）
計		0	計		0

E.			F.		
費 目	使 途	金 額（百万円）	費 目	使 途	金 額（百万円）

	計		0	計		0

G.			H.		
費 目	使 途	金 額 （百万円）	費 目	使 途	金 額 （百万円）
計		0	計		0

費目・使途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載	チェック		

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	法 人 番 号	業 務 概 要	支 出 額 （百万円）	契約方式等	入札者数 （応募者数）	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 （支出額10億円以上）
1								
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								

22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

国庫債務負担行為等による契約先上位10者リスト

	ﾌﾞﾛｯｸ名	契　約　先	法　人　番　号	業　務　概　要	契約額（百万円）	契約方式	入札者数（応募者数）	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策（契約額10億円以上）
1									
2									
3									
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
25									
26									
27									

28									
29									
30									